

日明かんびん資源化センター建替えについて

日明かんびん資源化センターは、平成5年の稼働以来24年が経過し老朽化が進行しているため、建替えの検討が必要な時期となっています。

この度、「北九州市公共事業評価に関する検討会議」*が行われ、建替えの必要性が認められましたのでご報告いたします。

なお、所定の手続きに従い市民意見を募集し、提出された意見を踏まえ事業を推進していく予定としております。

1 北九州市内のかんびん等の資源化施設

容器包装リサイクル法により、市町村には家庭から排出されるかんびん・ペットボトルを含めた容器包装を分別収集、選別等の処理を行い、リサイクル事業者に引き渡す役割が定められています。

市内には3か所の施設があり、市の責務である安全かつ安定的な容器包装廃棄物の処理により市内の生活環境の保全、公衆衛生の向上、およびリサイクル体制の維持を図っています。



※ 「北九州市公共事業評価に関する検討会議」

市が10億円以上の支出を予定している公共事業について、検討会議に諮り事業の実施について審議するもの。

2 日明かんびん資源化センター建替事業の概要

事業箇所：小倉北区西港町96番地3号

建替経費：約30億円（内訳市負担2億円、循環交付金9億円、起債19億円）

建替理由：当施設は平成5年の稼働以来、老朽化が進行しており、万一使用できなくなった場合、市内の一般家庭から排出される、かんびん・ペットボトル等の全量を処理することが出来なくなります。

事業計画：平成27年度 基本計画

平成28年度 生活環境影響調査、地質調査、PFI等導入可能性調査

平成29年度 公共事業評価

市民意見募集：平成30年1月12日(金)～2月5日(月)

市民意見を踏まえた市の対応方針公表

平成30年度 契約、着工

平成32年度 竣工、供用開始、既設解体

事業位置図：

